

琉球・沖縄 年中行事 Q&A

借家に移る際の仏壇と ヒヌカンのしきたり



●Answer
沖縄市・コザ山 仁王院 球陽寺
(コサ本願寺)
ぜんじゅうしょく きえりゅうしょう
前住職 帽依 龍照

ですが、今回のケースは、お仏壇・ヒヌカンのカリウンチケー（仮案内「かりあんない」）という、新築が完成するまでの一時的なお仏壇やヒヌカンの仮設になります。借家では、ウンチケーほど正式に安置するしきたりが存在しないのが沖縄の現状のようです。

A このたびは新築のご準備、大変おめでとうございます。匿名希望様のお仮壇やヒヌカンを大切に思ってお気持ちに感銘を受けています。

家は一戸建てで、1階が倉庫、2階・3階が住宅になっています。我が家は仏壇を持っているのですが、借家に移る際の仏壇やヒヌカンの位置、守らないといけないことなど、しきたりを教えてください。（宜野湾市・曆名希望・60代・女性）

Q 家の建て替えの間、親戚の家へ住むことになりました。その家は母の姉の家で、跡継ぎは県外に住んでいたため、新居ができるまで在住中で空き家になっていました。

その点を考慮しながら、沖縄のしきたりを参考にしつつ、匿名希望様のお仏壇やヒヌカンをどの場所にどのようになります。

カリウンチケーの
作法としきたり

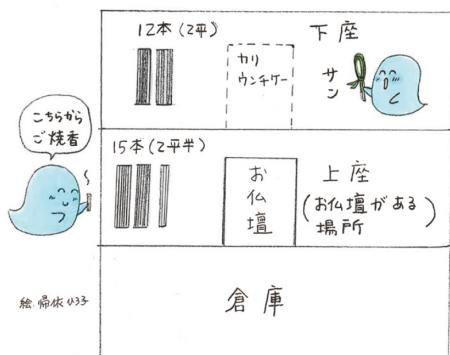
◎僧家でもともども安置されているお仏壇が2階の場合ジーチヌカン（土地）から見て3階が下座になるため、匿名希望様のお仏壇やヒヌカンを下座にあたる3階にカリウンチケーする方法があります。逆に、3階にもともとのお仏壇があるときには、ウティンヌカン（天上）から見て、3階よりも2階が下座になるという考え方もあるため、応用していただければと思います。

◎僧家でのカリウンチケーのとき、お仏壇の中やヒヌカンの後方に、サン(スキを結んだ祭具)を入れたり置いておけば、ここは仮設の場所であり、仮に間違いがあつたとしても双方、失礼には当たらぬといいう沖縄の伝統的なしきたりがあります。

◎新築が完成したときは、お借りした住宅のヤシチヌウグワン（屋敷の御願）をでる範囲で行い、土地や住宅をお借りされたお礼を申し上げられるとありがたいと思います。行い方がご不明なときは、ウジョウという門の付近で、「お貸ししてください」と大変ありがとうございました」と、ティーウサ一（両手を合わせる）だけでも十分かと思します。

置場所としましては、屋外と隣接する壁側や、風の通り道であるドアや窓を封鎖するような場所には置かないこと。お休みになると起き

するという意味で、匿名希望様のお仏壇やヒヌカンは、数の少ないタヒラの12本で焼香するという考え方もあります。



帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

1968年：岡山県出身（53歳）／学歴：岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒／専門分野：哲学（宗教哲学）／沖縄県宗教研究会・理事長／FMコザ・ラジオパーソナリティ／新刊『琉球・沖縄の仏教・浄土真宗 実践講座④・⑤』琉球・沖縄の仏壇・墓 百科事典（上巻・下巻）～葬式・法事・年中行事の作法・心得 ハンドブック①・②～』（令和3年4月発売予定）

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。